



ユーザマニュアル
TKC MX2 版 処理手順

2025/09/04
株式会社 HAYAWAZA

1. 内容

1. 内容	1
2. 事業所データの作成	2
1.1.消費税情報の確認	2
1.2.マスタ出力	5
3. 事業所の作成	9
3.1.事業所データの新規作成	9
3.2.事業所データの設定	16
4. 取引先について	19
4.1 取引先の管理	19
4.2.「0：随時入力」で取引先名を出力する方法	21
5. コンバート時の勘定科目と課税区分について	22
6. 書き出し準備	25
7. 仕訳データの取込	33
7.1. 仕訳データの取込	33
7.2 TKCMX2 取込時のエラー対処方法	37

2. 事業所データの作成

1.1.消費税情報の確認

HAYAWAZA で事業所データの作成を行う前に、TKC MX2 で作成する事業所の消費税情報の確認と、勘定科目、補助科目（取引先、口座等）、診療科マスタの出力を行います。

※TKC MX2 版は弥生会計と違い自動連動は行いませんので、マスタ登録を行わないとパターン登録を行う事が出来ません。

尚、本マニュアルでは TKC 医業会計 DB(MX2)版の画面をもとに説明をしております。MX2 クラウド版について、詳細は会計ソフトメーカーへお問合せください。

「R.経理区分情報の確認」→「301. 経理区分情報」の画面の以下の項目を確認します。

経理区分情報

業種検索

本日:令和5年5月31日(水)

経理区分情報1 | 経理区分情報2 | 経理区分情報3

1. 分類コード・合併コード 05030 / 998 / 999

2. 医療機関名 医療法人TKC会

3. 経理区分名 TKC病院

4. 法人番号/事業者登録番号 解説 / 法人番号から複写

5. 住所 郵便番号 320- 栃木県宇都宮市鶴田町 1 7 5 8

6. 代表者 電話番号 0286-48-2111 FAX番号 0286-48-1234
役職名 生年月日 昭和 3 年 9 月 22 日
氏名 健康 太郎 性別 男

7. 統合情報センターへの伝送処理
☐ 医業会計DBから伝送(固定ディスクから伝送) ☒ 自計伝送システムから伝送(伝送データの作成)

8. 法人組織区分 22 医療法人

9. 業種コード 8311 一般病院

10. 統合情報センター出力帳表の医療機関名の印刷位置 上段: 医療機関名 下段: 経理区分名

OK キャンセル

郵便番号を入力してください。

1 前項目 F6 タブ切替 F107 ヘルプ

※この画面は TKC 医業会計(MX2)版となります

「R. 経理区分情報の確認」→「302. 経理情報」の画面の以下の項目を確認します。

302 経理情報

ファイル(F) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

本日 令和5年5月31日(水)

経理情報

1. 会計年度 第 36 期

2. 決算月 3 月 財務締日 通常月 末日 決算月 末日

3. 申告期限 6 月 末日

4. 整理番号 123456

5. 諸口勘定 9991 資金諸口 9992 資金外諸口

6. 訂正・削除履歴を残さない期間 入力日より 0 日間

< 処理月情報 >

決	処理年月	期 間
*	5年 3月	5年 3月 1日～ 5年 3月31日
	5年 4月	5年 4月 1日～ 5年 4月30日
	5年 5月	5年 5月 1日～ 5年 5月31日
	5年 6月	5年 6月 1日～ 5年 6月30日
	5年 7月	5年 7月 1日～ 5年 7月31日
	5年 8月	5年 8月 1日～ 5年 8月31日
	5年 9月	5年 9月 1日～ 5年 9月30日
	5年10月	5年10月 1日～ 5年10月31日
	5年11月	5年11月 1日～ 5年11月30日
	5年12月	5年12月 1日～ 5年12月31日
	6年 1月	6年 1月 1日～ 6年 1月31日
	6年 2月	6年 2月 1日～ 6年 2月29日
*	6年 3月	6年 3月 1日～ 6年 3月31日
	6年 4月	6年 4月 1日～ 6年 4月30日

OK キャンセル

♥ 整理番号を入力してください。

F1 前項目 F107メニュー

「R. 経理区分情報の確認」→「303. システム情報」の画面の以下の項目を確認します。

303 システム情報

ファイル(F) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

本日 令和5年5月31日(水)

システム情報1 | システム情報2 | システム情報3 | システム情報4 | システム情報5 | システム情報6

1. 基本システム利用開始日 開始日: 平成26年 3月 1日

2. 変動損益計算書の表示位置 前期実績値/予算値 予算値/前期実績値

3. 診療科別管理 開始日: 平成 26 年 3 月 1 日 診療科コード省略値 000 共通

4. 窓口収入の入力 窓口収入の入力機能: 利用する 利用しない 収入列の表示 (円単位) 金額 7桁 金額 9桁 収入分類の確認

5. 資金管理 資金収支の管理を行う 管理項目 全項目内訳管理する 経常収支のみ内訳管理する

6. 診療報酬請求書等の入力 請求書等の入力機能: 利用する 利用しない 診療報酬請求書の入力: 仕訳情報の確認 当座口座払込通知書の入力: 仕訳情報の確認 返戻レセプト管理 利用する 利用しない

7. 支払予定表 支払予定表を作成する

8. 仕訳の入力可能月数 解説 当月から3か月間(当月が決算月の場合は4か月間) 当月から4か月間

OK キャンセル

♥ 処理を選択してください。

F1 前項目 F6 タブ切替 F107メニュー

「R.経理区分情報の確認」→「304. 消費税情報」の画面の以下の項目を確認します。

消費税情報

ファイル(F) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

本日 令和5年5月31日(水)

基本設定 | 入力制御等 | インボイス保存免除科目 | 事業区分

行	項目	令和5年5月現在	予 約
1	行2、3の開始日		令和 年 月 (令和 年 月 日から)
2	消費税申告書自動作成区分	自動作成する	☒ 自動作成する ☐ 自動作成しない
3	税額経理区分	税抜き経理	☒ 税抜き経理 ☐ 税込み経理
4	行5、6、7の開始日	令和5年4月現在	
5	課税方式区分	簡易課税方式	☒ 本則課税方式 ☒ 簡易課税方式 ☐ 免税事業者
6	課税仕入れの仕訳チェック(インボイス制度)	実施する	☒ 実施する ☐ 実施しない
7	基準期間課税売上高が1億円以下等	該当しない	☒ 該当する ☐ 該当しない
8	行9の開始日		令和 年 月 (令和 年 月 日から)
9	課税期間の短縮	短縮しない	☒ 短縮しない ☐ 短縮する(3か月) ☐ 短縮する(1か月)
10	税率テーブル	適用開始日	標準税率 軽減税率 経過措置等の税率
	税率テーブル[1] 税率の説明編集	平成 26年 4月 1日	8.0% 8.0% 5.0% 10.0% % %
	税率テーブル[2] 税率の説明編集	令和 1年 10月 1日	10.0% 8.0% 8.0% 5.0% % %

OK キャンセル

♥ 予約年を入力してください。

F1 前項目 | | | | F6 タブ切替 | | | F107 ヘルプメニュー

HAYAWAZA で設定する消費税情報は、

- 「課税方式区分」 : 本則課税方式、簡易課税方式、免税事業者
- 「税額経理区分」 : 税抜き経理、税込み経理
- 「端数処理」 : 切り捨て、四捨五入、切り上げ
- 「資金管理」 : 資金収支の管理を行う、行わない
- 「事業区分」 : 第一種（卸売り分）、第二種（小売り分）、
第三種（製造建築）、第四種（その他）、
第五種（サービス等）、第六種（不動産）
- 「諸口勘定」 : 資金諸口コード、資金外諸口コード

以上から該当するものを選択します。

消費税情報の確認が出来たら「勘定科目残高」、「口座／取引先別残高」、「診療科別科目別口座別残高」「取引先一覧」のマスタの出力を行います。

1.2.マスタ出力

「勘定科目残高」、「口座／取引先別残高」、「診療科別科目別口座別残高」のマスタの出力は「日々の会計情報」→「91. データ切り出し」画面から選択します。

インボイス制度・電帳法対応済 (999: 医療法人 T K C 会) 【科目体系: 病院準則】

ファイル(F) 取引の入力(A) 報告書の印刷(B) 取引問合せ(C) ツール(T) ウィンドウ(W) お問合せ(Q) ヘルプ(H)

MX2 お問合せ I B等起動 上書保存 本日: 令和 5年 5月31日(水) 前回処理日: 7年 9月 8日(月)

998 T K C病院

日々の会計業務 返品レバト管理 月末の会計業務 基本情報

A 会計データの入力		C 会計問合せ	E 最新経営成績問合せ
1 仕訳辞書	6 窓口収入	21 窓口収入	41 経営成績の問合せ
2 会計日記帳	7 複合仕訳	22 仕訳帳	42 医業データ分析表
3 預金出納帳	8 仕訳の読込	23 総勘定元帳	43 外来(入院)収益分析表
4 伝票(1伝票型)	9 入力データ検索	24 診療科別取引	44 診療科別業績の問合せ
5 伝票(5伝票型)	10 入力モニター	25 勘定科目残高	45 予算実績比較表
81 銀行信販データ受信	サービス稼働中	26 診療科別残高	
82 証憑保存		27 課税区分別取引	
83 証憑からの仕訳計上		28 科目別消費税額	
84 仕訳への証憑貼付		29 訂正・加除履歴	
		30 複合形式問合せ	
B 報告書の印刷		D 資金管理	F 予算管理
11 窓口収入	17 変動損益計算書	31 支払予定	51 継続MA S予算の登録
12 現預金出納帳	18 医業データ分析表	32 資金繰り実績表	52 予算データ一覧表/記入用紙の印刷
13 仕訳帳	19 診療科業績報告	33 銀行別預貸率表	53 継続MA S連動データの作成
14 総勘定元帳	20 資金管理報告書		
15 現預金残高報告			
16 科目残高一覧表	61 月次合算報告書		
		G 補助機能	
		91 データ切り出し	
		99 データのバックアップ	

♥ 番号で選択してください。

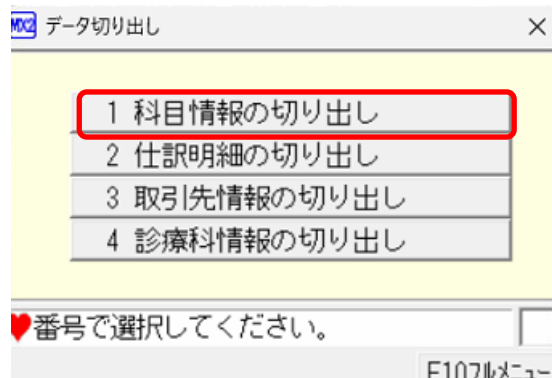
F5経区選択 F6タブ切替 F8日付変更 F10 終了

※この画面は TKC 医業会計 DB(MX2) 版となります

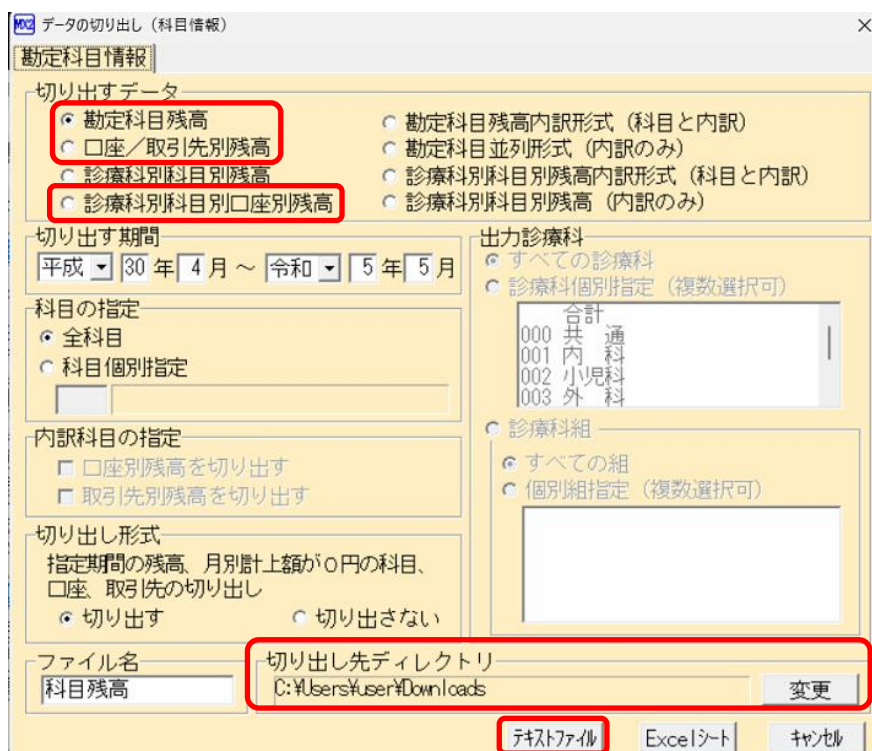
※MX2 クラウドのマスタ出力方法は MX2 版と異なります。

詳細は別紙を参照してください。→「[TKC FX2 クラウドのマスタファイルの取得方法](#)」

下記画面が表示されるので「科目情報の切り出し」を選択します。



切り出したいマスタを選択して保存先を選択した後、「テキストファイル」ボタンを選択します。
選択すると切り出し先ディレクトリに指定したフォルダにファイルが出力されます。



「口座／取引先別残高」および「診療科別科目別口座別残高」についても同様に行います。

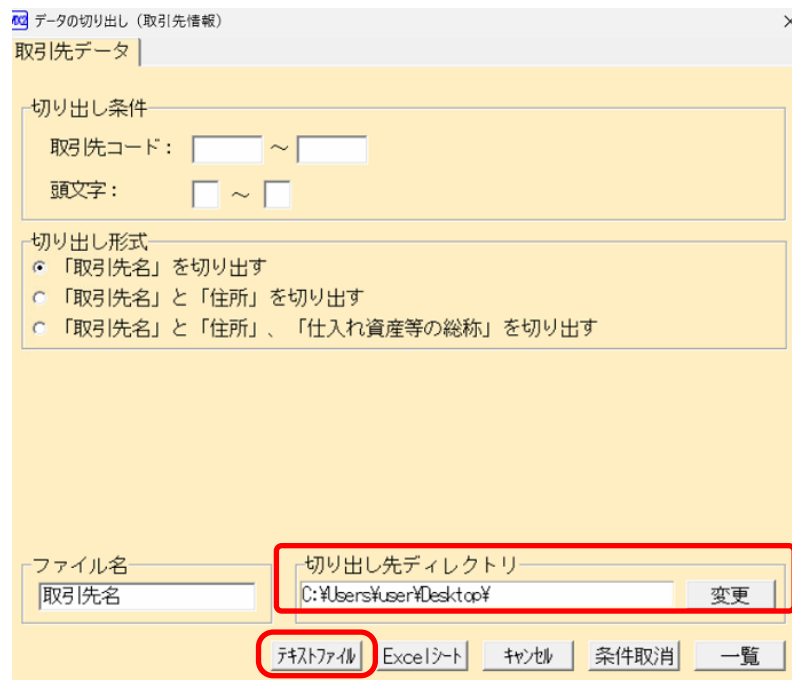
注意：「診療科別科目別口座別残高」の出力は、診療科管理がされていない場合は、出力することができませんのでご注意ください。

最後に取引先に関する出力方法をご説明します。取引先管理をされている場合は必要となります。

下記の画面から「91.データの切り出し」→「3. 取引先情報の切り出し」を選択します。



下記の画面が表示されたら「切り出し先フォルダ」を選択して「テキストファイル」ボタンを選択します。選択すると指定したファイルに取引先一覧マスタファイルが生成されます。



補足) MX2 クラウドの取引先について

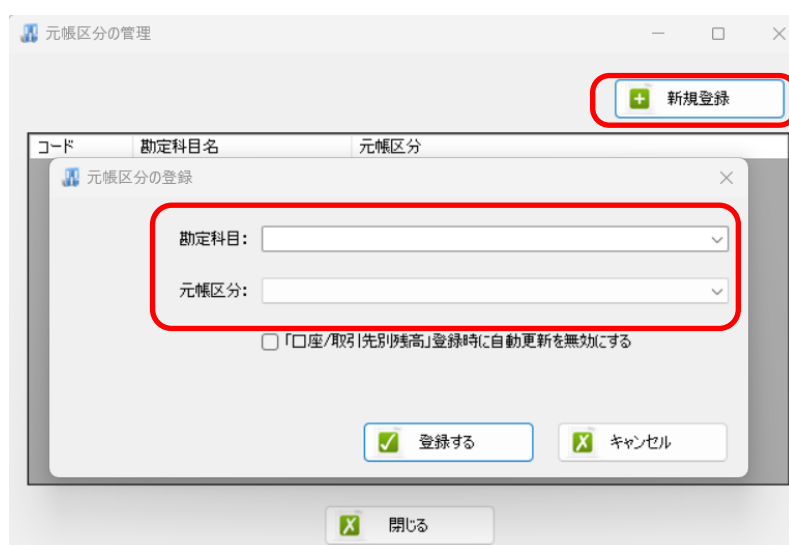
MX2 クラウドから出力されるマスタでは、一部元帳区分のデータが記載されていない場合があります。

取引先に関連する科目の紐づけは、

「設定」>「勘定科目の管理」>「元帳区分の管理」よりご確認ください、必要な場合のみ手動で設定をお願いいたします。



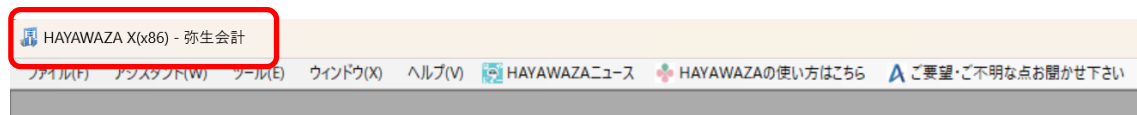
「新規登録」を選択すると、登録画面が表示されます。プルダウンから科目および元帳区分を選択してください。



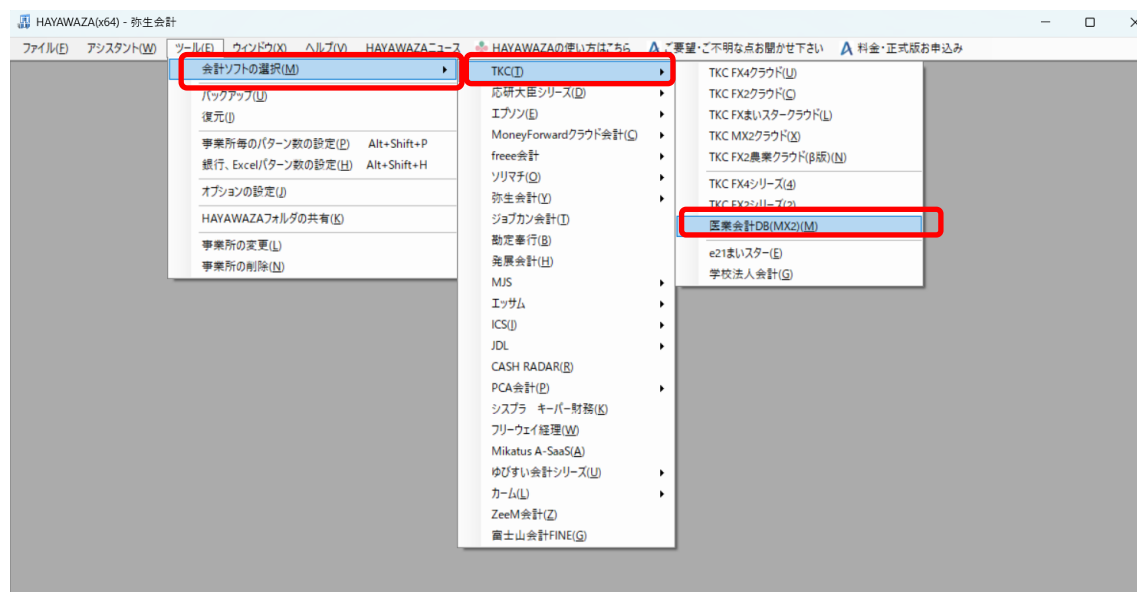
3. 事業所の作成

3.1.事業所データの新規作成

HAYAWAZA を起動し、左上のタイトルバーが「TKC 医業会計 DB(MX2)」もしくは「TKC MX2 クラウド」以外の場合、会計ソフトの変更をします。



TKC MX2 版に変更するには、「ツール」の「会計ソフトの選択」で「TKC 医業会計 DB(MX2)」もしくは「TKC MX2 クラウド」を選択します。



会計ソフトの変更を行うと、タイトルバーの表示が「TKC 医業会計 DB(MX2)」となります。



メニューの「ファイル」→「事業所の新規作成」から事業所の設定を行います。

「事業所の新規作成」を選択すると、以下の画面が表示されます。

TKC 医薬会計DB(MX2)設定ウィザード - 事業所詳細の設定(1/3)

会社名 		関与先コード 分類コード・合併コードの(xxxxx/999/xxx)	
決算期 第 1 期	会計期間 2025年 4月 1日 ~ 2026年03月31日		
課税方式区分 ☐ 本則課税方式 ☒ 簡易課税方式 ☐ 免税事業者		税額経理区分 ☐ 税抜き経理 ☒ 税込み経理	
端数処理 ☐ 切り捨て ☒ 四捨五入 ☐ 切り上げ		資金管理 ☐ 資金収支の管理を行う	
事業内容 ☐ 第一種(卸売り分) ☐ 第二種(小売り分) ☐ 第三種(製造建設) ☐ 第四種(その他) ☐ 第五種(サービス等) ☐ 第六種(不動産) ☒ 指定なし			
諸口勘定 資金諸口コード: 9991 資金外諸口コード: 9992			
データ作成システム区分 システム区分: 999 (通常は「999」を使用)			

登録する会社名、決算期、会計期間、消費税情報を設定します。

TKC 医薬会計DB(MX2)設定ウィザード - 事業所詳細の設定(1/3)

会社名 HAYAWAZA医療MX2		関与先コード 999 分類コード・合併コードの(xxxxx/999/xxx)
決算期 第 1 期	会計期間 2025年 4月 1日 ~ 2026年03月31日	
課税方式区分 ☐ 本則課税方式 ☒ 簡易課税方式 ☐ 免税事業者		税額経理区分 ☒ 税抜き経理 ☐ 税込み経理
端数処理 ☐ 切り捨て ☒ 四捨五入 ☐ 切り上げ		資金管理 ☒ 資金収支の管理を行う
事業内容 ☐ 第一種(卸売り分) ☐ 第二種(小売り分) ☐ 第三種(製造建設) ☐ 第四種(その他) ☐ 第五種(サービス等) ☐ 第六種(不動産) ☒ 指定なし		
諸口勘定 資金諸口コード: 9991 資金外諸口コード: 9992		
データ作成システム区分 システム区分: 999 (通常は「999」を使用)		

会社情報の設定が出来たら「次へ」を選択します。

下記の画面では、HAYAWAZA で作成した事業所にパスワードを使用したい場合に設定を行います。「管理者のパスワードを設定する」にチェックをしてパスワードの入力して下さい。（不要の場合は、この画面で管理者パスワードを省略して下さい。）

TKC 医薬会計DB(MX2)設定ウィザード - 管理者パスワードの設定画面(2/3)

HAYAWAZAでは、事業所のデータのアクセスへパスワードを設定することが可能です。
事業所のアクセスする「管理者」にパスワードを設定しますか？

☐ 管理者のパスワードを設定する

パスワードの設定

入力:

再入力:

注意：

このパスワードの設定は、事業所を作成した後でも設定することは可能です。
詳しくは、「ユーザ管理」をご確認下さい。

管理者パスワード設定画面で「次へ」を選択すると下記の画面が表示されます。
設定の確認画面です。設定内容が正しければ「登録する」を選択して下さい。修正する場合は、「戻る」を選択して修正して下さい。

TKC 医薬会計DB(MX2)設定ウィザード - 確認画面(3/3)

事業所情報	会社名: HAYAWAZA医療MX2 関与先コード: 999 会計期間: 第1期(2025年04月01日 ~ 2026年03月31日)
消費税情報	課税方式区分: 簡易課税方式 税額経理区分: 税抜き経理 端数処理: 四捨五入 事業内容: 指定なし
資金管理	資金収支の管理を行う: 設定する
諸口勘定	資金諸口コード: 9991 資金外諸口コード: 9992
データ作成システム区分	システム区分: 999
事業管理者パスワード	未設定

< 戻る(⏪) 登録する(⏩) キャンセル(⌫)

正しく登録されると完了画面が表示されます。

TKC 医療会計DB(MX2)設定ウィザード - 確認画面(3/3)

事業所情報

会社名: HAYAWAZA医療MX2

関与先コード: 999

会計期間: 第1期(2025年04月01日 ~ 2026年03月31日)

TKC 医療会計DB(MX2)設定ウィザード

登録が完了しました。

OK

資金諸口コード: 9991

資金外諸口コード: 9992

データ作成システム区分

システム区分: 999

早業管理者パスワード

未設定

◀ 戻る(B)

▶ 登録する(Y)

✕ キャンセル(C)

事業所の登録が完了したら、事業所で使用する銀行、もしくは Excel のパターン数を設定します。

「登録可能パターン数の設定」画面では、「銀行パターン数の設定」と「Excel パターン数の設定」の2つの値を設定して下さい。

登録可能パターン数の設定

検索

表示オプション
☐ 繰越済の事業所も表示する

事業所名	決算期	会計期間	銀行パターン(登録/設定)	Excelパターン(登録/設定)
HAYAWAZA医療MX2	1	R.07/04/01-R.08/03/31	(--/0)	(--/0)

データベース名: HAYAWAZA医療MX2(1期).mdb

登録日時: 2025年09月08日 14時26分54秒

更新日時: 2025年09月08日 14時26分54秒

全事業所のパターン数をリセット(J)

全事業所の登録パターン数を更新する(K)

銀行パターン数の設定
0 0の値が設定可能(現在の設定パターン数: 0)

Excelパターン数の設定
0 0の値が設定可能(現在の設定パターン数: 0)

エクスポート(J) ファイルを選択して開く(K) 設定する(Y) キャンセル(N)

注意：

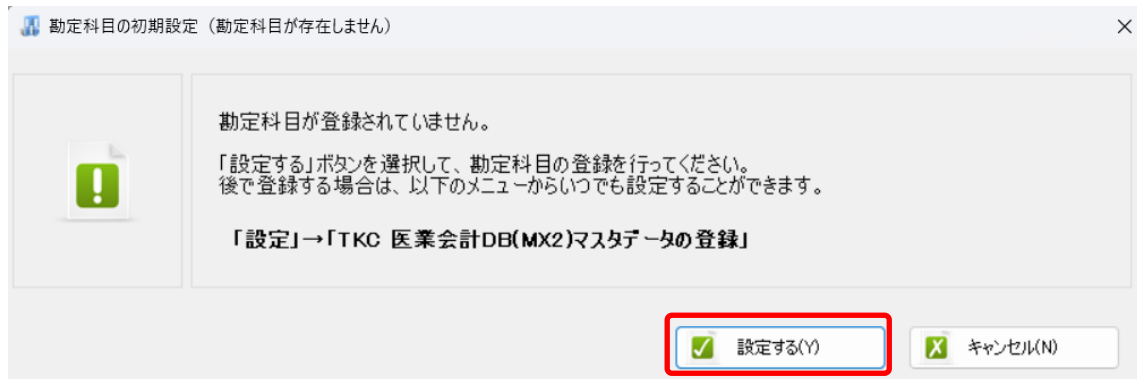
登録可能なパターン数は、「ヘルプ」⇒「ライセンス情報」で確認して下さい。体験版ライセンスには、銀行パターン、Excel パターンとも「10」となっております。

上記の画面で設定したパターン数は、後で変更することが可能です。詳しくは、「登録パターン数の設定」をご確認下さい。

パターン数を正しく入力し「設定する」ボタンをクリックすると、マスタファイルの画面に戻ります。

3.2.事業所データの設定

事業所の作成およびパターン数の設定が完了すると、以下の「勘定科目の初期設定」画面が表示されます。(マスタ登録後は表示されなくなります)



「設定する」を選択するとマスタデータの登録画面が表示されます。
TKCMX2 から出力した「勘定科目残高」、「口座／取引先別残高」、「診療科別科目別口座別残高」のマスタファイルを画面上にドロップします。



データをドロップするとデータのファイル選択画面が表示されます。

画面上部にはドロップしたデータファイルが一覧で表示され、画面下部にマスタデータのプレビューが表示されます。複数のデータをドロップした場合は選択したマスタファイルの内容がプレビュー画面に表示されます。

※口座取引先残高、診療科別科目別口座別残高は科目を登録した後に行ってください。

ファイル一覧でチェックをつけたデータが登録の対象となりますので、必要なデータにチェックをつけます。

TKC 医薬会計DB(MX2)マスタファイル読み込み - マスタファイルの選択

以下の一覧から登録するファイルをチェックして、「登録」ボタンを選択するとマスタファイルの内容が登録されます。

ファイル一覧

☒ (科目名称一覧)科目残高

処理オプション

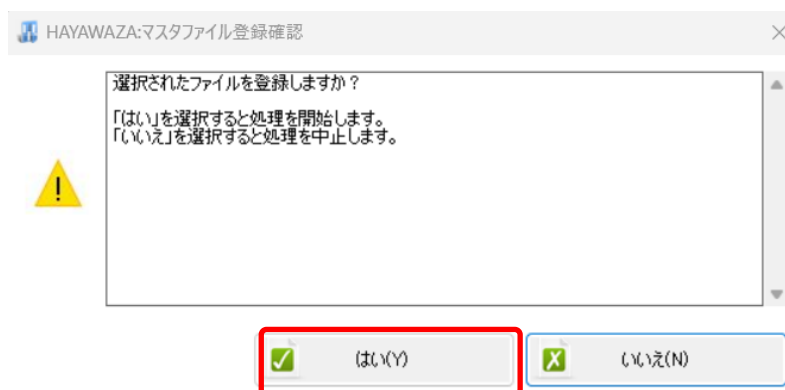
☐ 現在のマスタデータを無効にせず、新しいデータを追加する

マスタ内容のプレビュー

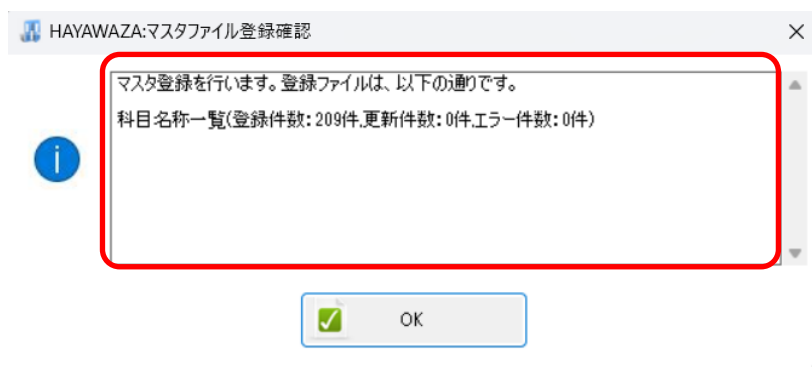
998	999	TKC病院				
			H30.4	H30.4	平成30年 4月	H3
科目	固	勘定科目名	借方	貸方	残高	借:
1111		現金	72505720	68893000	13631152	0
1112		当座預金	0	0	507623	0
1113		普通預金	82658065	57169080	98540301	0
1114		定期預金	0	0	73255153	0
1115		通知預金	0	0	0	0
1116			0	0	0	0

< 戻る(J) 登録する(Y) X 閉じる(C)

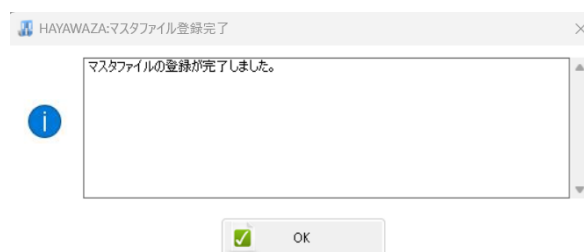
データファイルのチェックをつけ、「登録する」を選択すると確認画面が表示されるので、「はい」を選択します。



上記の画面で「はい」を選択すると、マスタファイルの登録が開始され、終了時に登録結果が表示されます。



上記の画面で「OK」をクリックするとマスタ登録が完了し、以下の画面が表示されます



取引先管理をされている場合は、取引先一覧も HAYAWAZA に登録します。
すべてのマスタの登録が完了したらパターンの登録、設定を行っていきます。

※詳しくはマニュアルを参照ください。

4. 取引先について

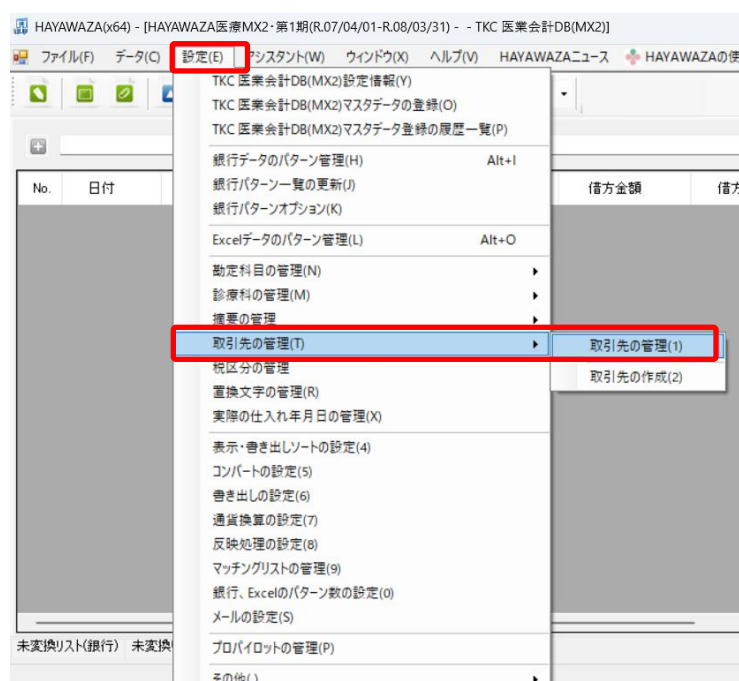
4.1 取引先の管理

取引先一覧を登録すると HAYAWAZA で取引先を出力することができます。

※HAYAWAZA 上では取引先の項目（列）がないため、代わりに摘要欄を取引先として扱います。

（１）パターン設定の際に借方摘要１～３、貸方摘要１～３の中からどれか１つを取引先として扱うかを決めていただき、元データの取引先の列（またはセル）を指定してください。

（２）「設定」→「取引先の管理」→「取引先の管理」より、取引先として出力する摘要を設定します。



取引先の管理(511件)

取引先オプション TKC版オプション

取引先オプション

☐ 「借方摘要1」を「取引先」として書き出しする

☐ 「貸方摘要1」を「取引先」として書き出しする

☐ 「借方摘要2」を「取引先」として書き出しする

☐ 「貸方摘要2」を「取引先」として書き出しする

☒ 「借方摘要3」を「取引先」として書き出しする

☒ 「貸方摘要3」を「取引先」として書き出しする

比較オプション

☐ 部分一致で取引先を検索する

☐ 空欄で区切った文字で取引先を検索しない

検索

上記設定を行うと指定した摘要を取引先として扱い、取引先マスタとのマッチングが可能になります。

取引先は基本的に自動でマッチングされます。

マッチングされない取引先に関しましては、手動での登録が必要となります。

取引先マッチングについては、別紙 [「取引先のマッチングについて」](#) を参照してください。

4.2. 「O：随時入力」で取引先名を出力する方法

HAYAWAZA では、取引先一覧を登録することなく、書き出し時に「O：随時入力」で「取引先名」を出力することが可能です。

先ほどの「取引先の管理」から「TKC 版オプション」のタブを選択します。

取引先の管理

取引先オプション TKC版オプション

取引先優先度オプション

☐ 補助科目の取引先ではなく、摘要を優先して出力する ☐ 取引先別元帳区分以外でも取引先を出力

補助科目優先度オプション

☐ 補助科目に補助コードが指定されている場合は、補助コードを優先して出力する

摘要の「取引先名(随時入力)」出力優先オプション

☐ 「その他取引先(999999)」ではなく、摘要の「取引先名(随時入力)」出力を優先して出力する

検索

取引先コード	取引先名(略称等)	名称等	適格請求書発行事業者番号
--------	-----------	-----	--------------

閉じる

上記の画面で「その他取引先(999999)」ではなく、摘要の「取引先名（随時入力）」出力を優先して出力する」にチェックを入れると、選択された摘要にある文字列を随時入力「O」でセットすることができます。

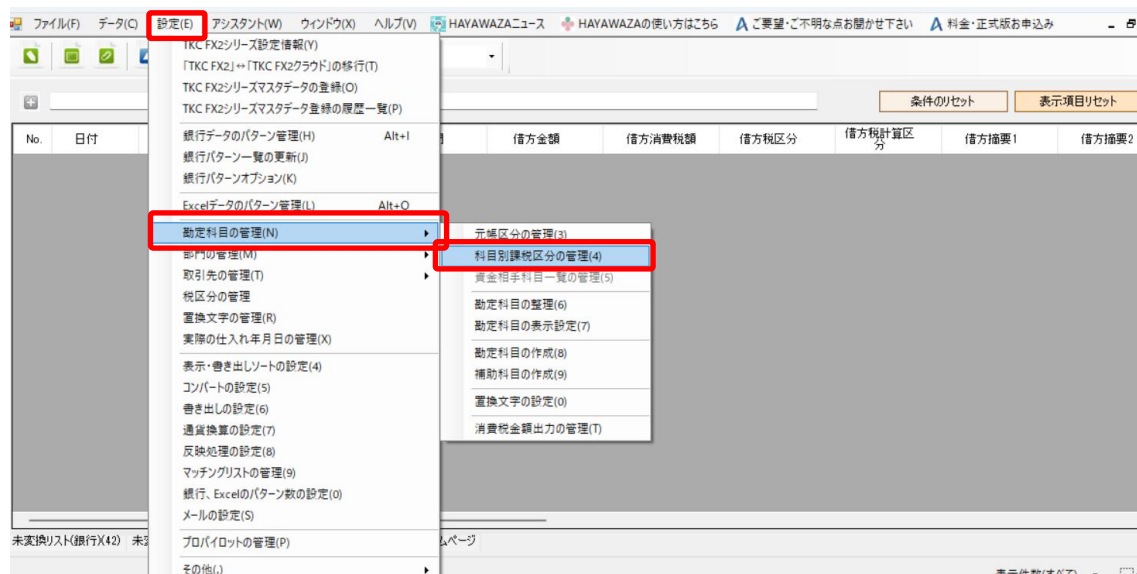
※勘定科目の元帳区分が HAYAWAZA に登録されている場合、自動で随時出力とその他取引先を判断しています。

※取引先管理をされている科目のある仕訳で、取引先を随時出力した場合、MX2 インポート時にエラーとなります。

5. コンバート時の勘定科目と課税区分について

HAYAWAZA では、各事業所単位で勘定科目と課税区分を管理しています。

メニューの「設定」→「勘定科目の管理」→「科目別課税区分の管理」を選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面で勘定科目と課税区分の関連付けをしています。基本的には、1つの勘定科目に複数の課税区分が関連付けされていますが、「優先順位」を指定することでコンバート時の課税区分を選定しています。

以下の画面に、「5454.運賃」に関する設定が表示されています。

科目別課税区分の管理

新規登録

優先順位について: 優先順位は、「0(最優先)～99」の順で指定可能です。

科目コード	勘定科目名	課税区分	優先順位
5452	ガス代	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5453	水道料	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5454	運賃	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5454	運賃	0不課税取引(税外取引)	1
5454	運賃	8非課税仕入れ・同対価の返還	1
5455	洗面用具費	0不課税取引(税外取引)	1
5456	修繕費	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5457	租税公課	0不課税取引(税外取引)	1
5458	賃借料	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5458	賃借料	8非課税仕入れ・同対価の返還	1
5459	保険料	8非課税仕入れ・同対価の返還	1
5461	消耗品費	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5461	消耗品費	0不課税取引(税外取引)	1

閉じる

デフォルトでは優先順位がすべて1となっており、この場合は、該当科目の一番上に表示されている課税区分「5」が使用されます。

19	2024/10/09	5461消耗品費	10,000	107 5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	消費税
20	2024/10/10	5457租税公課	2,000	0不課税取引(税外取引)	印紙税
21	2024/10/11	5454運賃	10,000	909 5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	電車回数券
22	2024/10/11	5454運賃	0,210	232 0不課税取引(税外取引)	黒鉛

他の課税区分を使用したい場合は、優先順位を変更する必要があります。
注意：優先順位は、「0」が最も優先度が高く、「99」が最も優先度が低いものとなります。

「科目別課税区分の管理」画面で、使用したい課税区分をダブルクリックすると、「科目別課税区分の登録」画面が表示されます。

科目別課税区分の登録

勘定科目: 5454運賃

課税区分: 8非課税仕入れ・同対価の返還

優先順位: 0

☒ 登録する ☐ キャンセル

上記の画面で優先順位の変更を行います。今回は使用したい課税区分の優先順位を「0」とします。変更したら「登録する」を選択します。

優先順位について: 優先順位は、「0(最優先)～99」の順で指定可能です。

科目コード	勘定科目名	課税区分	優先順位
5438	退職金	0.不課税取引(税外取引)	1
5441	外注加工費	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5451	電力費	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5452	ガス代	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5453	水道料	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5454	運賃	8非課税仕入れ・同対価の返還	0
5454	運賃	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5454	運賃	0.不課税取引(税外取引)	1
5455	減価償却費	0.不課税取引(税外取引)	1
5456	修繕費	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5457	租税公課	0.不課税取引(税外取引)	1
5458	貸借料	5課税売上げにのみ要する課税仕入れ	1
5459	貸借料	0.不課税取引(税外取引)	1

☒ 開じる

課税区分「8」の優先順位が「0」となり、該当科目の一番上に表示されます。

※優先順位が最も高いものが、一番上に表示されます。

この状態で「5454.運賃」を使用してコンバートすると、課税区分「8」が使用されます。

2024/10/10	5457租税公課		2,000	0.不課税取引(税外
2024/10/11	5454運賃		10,000	8非課税仕入れ・同...
2024/10/11	6223接待交際費		3,213	292 5課税売上げにのみ...

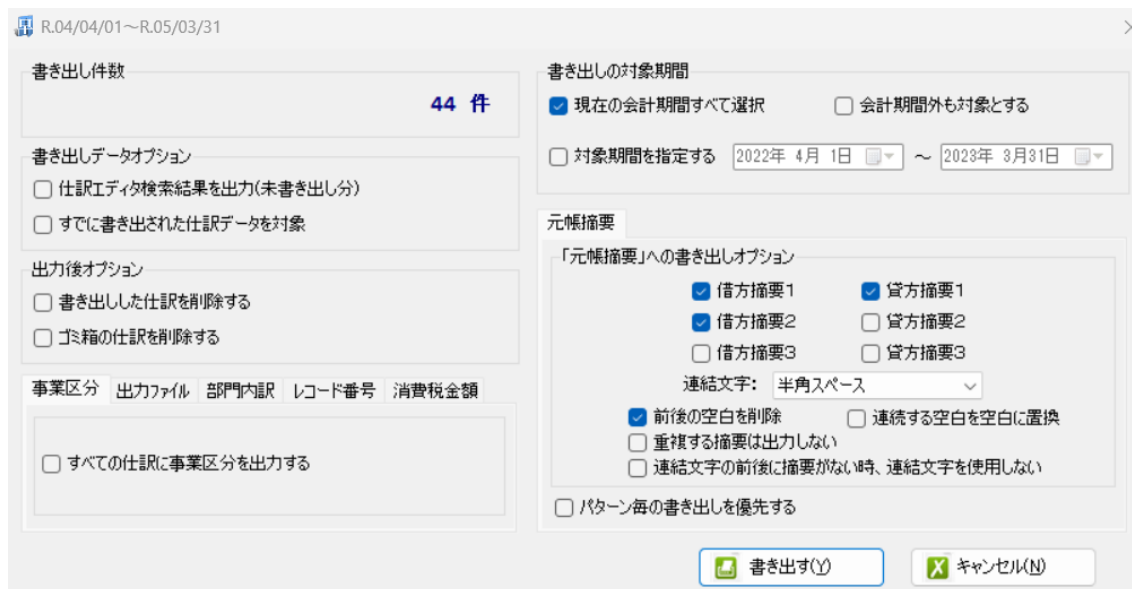
6. 書き出し準備

TKC MX2 版では、自動連動は行われないので、HAYAWAZA でファイルを出力し、TKC MX2 もしくは TKCMX2 クラウドで取り込み処理を行う必要があります。
仕訳エディタに全ての仕訳を反映させ、書き出しを選択すると、以下の「取引先の書き出し設定に関する注意」画面が表示されます。



確認いただき、必要がなければ「閉じる」を選択してください。

次の画面で書き出しオプションを設定することが出来ます。



※画面左上の書き出し件数には現在書き出し可能な仕訳件数が表示されています。

・書き出しデータオプション

「仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)」:

書き出し可能な仕訳の内、現在仕訳エディタに表示されている仕訳のみを書き出す場合にチェックを入れます。

「すでに書き出された仕訳データを対象」:

一度書き出し済みの仕訳データを再度書き出す場合にチェックをつけます。

仕訳エディタに書き出したい仕訳を表示させ、書き出しデータオプションのチェックを両方つけることにより、再度書き出しを行うことができます。

R.06/04/01~R.07/03/31

書き出し件数 44 件

書き出しデータオプション

- ☒ 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
- ☒ すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション

- ☐ 書き出した仕訳を削除する
- ☐ ゴミ箱の仕訳を削除する

事業区分 出力ファイル 部門内訳 レコード番号 消費税金額

- ☐ すべての仕訳に事業区分を出力する

書き出しの対象期間

- ☒ 現在の会計期間すべて選択 ☐ 会計期間外も対象とする
- ☐ 対象期間を指定する 2024年 4月 1日 ~ 2025年 3月31日

元帳摘要

「元帳摘要」への書き出しオプション

- ☒ 借方摘要1 ☒ 貸方摘要1
- ☒ 借方摘要2 ☒ 貸方摘要2
- ☒ 借方摘要3 ☒ 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

- ☒ 前後の空白を削除 ☐ 連続する空白を空白に置換
- ☐ 重複する摘要は出力しない
- ☐ 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

- ☐ パターン毎の書き出しを優先する

書き出す(Y) キャンセル(N)

・出力後オプション

「書き出した仕訳を削除する」

仕訳の書き出しを行っても HAYAWAZA の中にデータが残っており、再度書き出しを行う事が出来ませんがこちらのチェックを付けると書き出しと同時に仕訳を削除し、HAYAWAZA にデータは残りません。

「ゴミ箱の仕訳を削除する」

ゴミ箱に隔離している仕訳を書き出しと同時に自動で削除します。

R.04/04/01～R.05/03/31

書き出し件数 **44 件**

書き出しデータオプション

☐ 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)

☐ すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション

☐ 書き出した仕訳を削除する

☐ ゴミ箱の仕訳を削除する

事業区分 出力ファイル 部門内訳 レコード番号 消費税金額

☐ すべての仕訳に事業区分を出力する

書き出しの対象期間

☒ 現在の会計期間すべて選択 ☐ 会計期間外も対象とする

☐ 対象期間を指定する 2022年 4月 1日 ～ 2023年 3月31日

元帳摘要

「元帳摘要」への書き出しオプション

☒ 借方摘要1 ☒ 貸方摘要1

☒ 借方摘要2 ☐ 貸方摘要2

☐ 借方摘要3 ☐ 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

☒ 前後の空白を削除 ☐ 連続する空白を空白に置換

☐ 重複する摘要は出力しない

☐ 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

☐ パターン毎の書き出しを優先する

・事業区分

事業区分を出力したい場合にチェックを入れます。

R.04/04/01～R.05/03/31

書き出し件数 **44 件**

書き出しデータオプション

☐ 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)

☐ すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション

☐ 書き出した仕訳を削除する

☐ ゴミ箱の仕訳を削除する

事業区分 出力ファイル 部門内訳 レコード番号 消費税金額

☐ すべての仕訳に事業区分を出力する

書き出しの対象期間

☒ 現在の会計期間すべて選択 ☐ 会計期間外も対象とする

☐ 対象期間を指定する 2022年 4月 1日 ～ 2023年 3月31日

元帳摘要

「元帳摘要」への書き出しオプション

☒ 借方摘要1 ☒ 貸方摘要1

☒ 借方摘要2 ☐ 貸方摘要2

☐ 借方摘要3 ☐ 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

☒ 前後の空白を削除 ☐ 連続する空白を空白に置換

☐ 重複する摘要は出力しない

☐ 連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない

☐ パターン毎の書き出しを優先する

・出力ファイル

月単位でファイルを出力したい場合にチェックをいれます。

The screenshot shows a software window titled 'R.04/04/01~R.05/03/31'. On the left, under '書き出しデータオプション' (Output Data Options), there are checkboxes for '仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)' and 'すでに書き出された仕訳データを対象'. Below this, under '出力後オプション' (After Output Options), there are checkboxes for '書き出した仕訳を削除する' and 'ゴミ箱の仕訳を削除する'. The '事業区分' (Business Area) section has four tabs: '出力ファイル' (Output File), '部門内訳' (Department Breakdown), 'レコード番号' (Record Number), and '消費税金額' (Consumption Tax Amount). The '出力ファイル' tab is selected and highlighted with a red box. Below the tabs, there is a checkbox labeled '月単位でファイルを出力する' (Output file by month). On the right side, there are sections for '書き出しの対象期間' (Output Target Period) with checkboxes for '現在の会計期間すべて選択' (selected) and '会計期間外も対象とする', and a date range selector. Below that is the '元帳摘要' (General Ledger Summary) section with checkboxes for '借方摘要1' through '借方摘要3' and '貸方摘要1' through '貸方摘要3', a '連結文字' (Linking Character) dropdown set to '半角スペース', and checkboxes for '前後の空白を削除' (selected), '連続する空白を空白に置換', '重複する摘要は出力しない', and '連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない'. At the bottom right are buttons for '書き出す(Y)' (Output) and 'キャンセル(N)' (Cancel).

・部門内訳

複合仕訳の場合で、部門内訳で書き出したい場合はチェックをいれます。

This screenshot is similar to the previous one, showing the same software window. In this instance, the '部門内訳' (Department Breakdown) tab under the '事業区分' (Business Area) section is selected and highlighted with a red box. The checkbox '複合仕訳を部門内訳で出力する(可能な仕訳のみ)' (Output composite journal entries by department breakdown (only possible journal entries)) is visible below the tabs. All other settings, including the 'Output File' checkbox and the right-hand options, remain the same as in the previous screenshot.

・レコード番号

出力する仕訳の開始レコード番号を指定することができます。

The screenshot shows a software window titled 'R.04/04/01~R.05/03/31'. On the left, under '書き出しデータオプション', the '書き出し件数' (Number of items to output) is 44. Below this, the '書き出しデータオプション' (Output data options) section has two checkboxes: '仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)' (Output trial editor search results (unoutputted)) and 'すでに書き出された仕訳データを対象' (Target already outputted trial data). The '出力後オプション' (After output options) section has two checkboxes: '書き出した仕訳を削除する' (Delete outputted trial) and 'ゴミ箱の仕訳を削除する' (Delete trial in trash). Below these, the '事業区分' (Business division), '出力ファイル' (Output file), '部門内訳' (Department breakdown), 'レコード番号' (Record number), and '消費税金額' (Consumption tax amount) are listed. The 'レコード番号' field is highlighted with a red box and contains the value '1'. The '消費税金額' field is empty. On the right, the '書き出しの対象期間' (Output target period) section has a checked box for '現在の会計期間すべて選択' (Select all current accounting periods) and an unchecked box for '会計期間外も対象とする' (Also target outside accounting periods). Below this, the '対象期間を指定する' (Specify target period) section has date pickers for '2022年 4月 1日' and '2023年 3月31日'. The '元帳摘要' (General ledger summary) section has a sub-section '「元帳摘要」への書き出しオプション' (Output options for 'General ledger summary') with several checkboxes: '借方摘要1' (Debit summary 1), '貸方摘要1' (Credit summary 1), '借方摘要2' (Debit summary 2), '貸方摘要2' (Credit summary 2), '借方摘要3' (Debit summary 3), and '貸方摘要3' (Credit summary 3). The '連続文字' (Continuous text) dropdown is set to '半角スペース' (Half-width space). Below this, there are checkboxes for '前後の空白を削除' (Delete blank space before/after), '連続する空白を空白に置換' (Replace continuous blank space with blank), '重複する摘要は出力しない' (Do not output duplicate summaries), and '連結文字の前後に摘要がない時、連結文字を使用しない' (When no summary is present before/after the connection text, do not use the connection text). At the bottom, there are buttons for '書き出す(Y)' (Output) and 'キャンセル(N)' (Cancel).

・消費税金額

消費税金額を別記として出力したい場合にチェックを入れます。

The screenshot shows the same software window as above. In the '書き出しデータオプション' section, the 'すでに書き出された仕訳データを対象' (Target already outputted trial data) checkbox is now checked. In the '事業区分' section, the '消費税金額' (Consumption tax amount) field is now highlighted with a red box and contains a checked checkbox. Below this, there is a new checkbox labeled '消費税金額を別記として出力(消費税金額の自動計算なし)' (Output consumption tax amount as a separate record (no automatic calculation of consumption tax amount)). The 'レコード番号' field still contains '1'. The '書き出す(Y)' (Output) and 'キャンセル(N)' (Cancel) buttons are at the bottom.

・「元帳摘要」への書き出しオプション

HAYAWAZA では摘要を借方・貸方でそれぞれ 3 つまで設定できますが TKCMX2 の摘要は一つとなります。HAYAWAZA から出力する際は、6 つの摘要を連結して出力します。

HAYAWAZA に入力されている摘要のうち、書き出す摘要を指定できます。

HAYAWAZA で入力されていてもこのチェックが外れている場合は出力されません。

摘要は「借方摘要 1～3」、「貸方摘要 1～3」の順に連結されます。

書き出したい摘要にチェックをつけます。

「連結文字」

摘要と摘要を連結する文字を指定する事が出来ます。

「連結文字」を選択し、以下のリストから指定します。

「前後の空白を削除」

摘要の空白を削除して書き出しを行います。

「連続する空白を空白に置換」

摘要を連結した際に、複数の空白を削除します。

「重複する摘要は出力しない」

同一の摘要については出力されないようにします。

「連結文字の前後に摘要がないとき、連結文字を使用しない」

摘要に入力がない場合は、連結文字が出力されないようにします。

R.04/04/01~R.05/03/31

書き出しの件数 47 件

書き出しデータオプション

- ☐ 仕訳エディタ検索結果を出力(未書き出し分)
- ☒ すでに書き出された仕訳データを対象

出力後オプション

- ☐ 書き出した仕訳を削除する
- ☐ ゴミ箱の仕訳を削除する

事業区分 出力ファイル 部門内訳 レコード番号 消費税金額

- ☐ 消費税金額を別記として出力(消費税金額の自動計算なし)

書き出しの対象期間

- ☒ 現在の会計期間すべて選択 ☐ 会計期間外も対象とする
- ☐ 対象期間を指定する 2022年 4月 1日 ~ 2023年 3月 31日

元帳摘要

「元帳摘要」への書き出しオプション

- ☒ 借方摘要1 ☒ 貸方摘要1
- ☒ 借方摘要2 ☐ 貸方摘要2
- ☐ 借方摘要3 ☐ 貸方摘要3

連結文字: 半角スペース

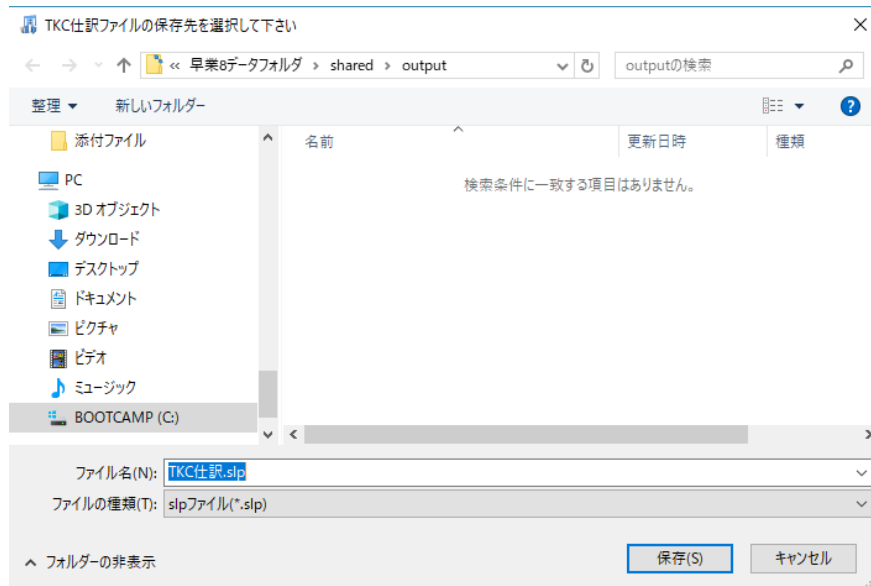
- ☒ 前後の空白を削除
- ☐ 連続する空白を空白に置換
- ☐ 重複する摘要は出力しない
- ☐ 連結文字の前後に摘要がないとき、連結文字を使用しない

☐ パターン毎の書き出しを優先する

書き出す(Y) キャンセル(N)

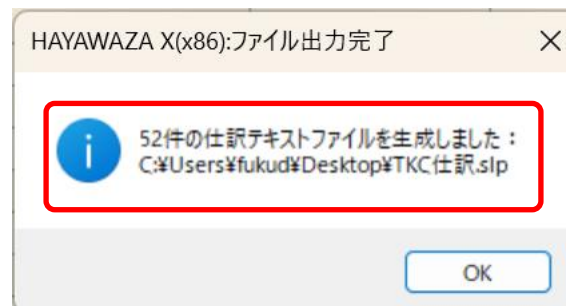
詳しくはマニュアルの「書き出しの初期設定」をご確認ください。

書き出し画面で全ての設定を確認し、「書き出す」を選択すると以下のファイルの出力先を選択する画面が表示されます。



保存先を選択し、「保存」を選択するとファイルの出力が行われます。
このときに出力ファイル名を変更することは可能です。

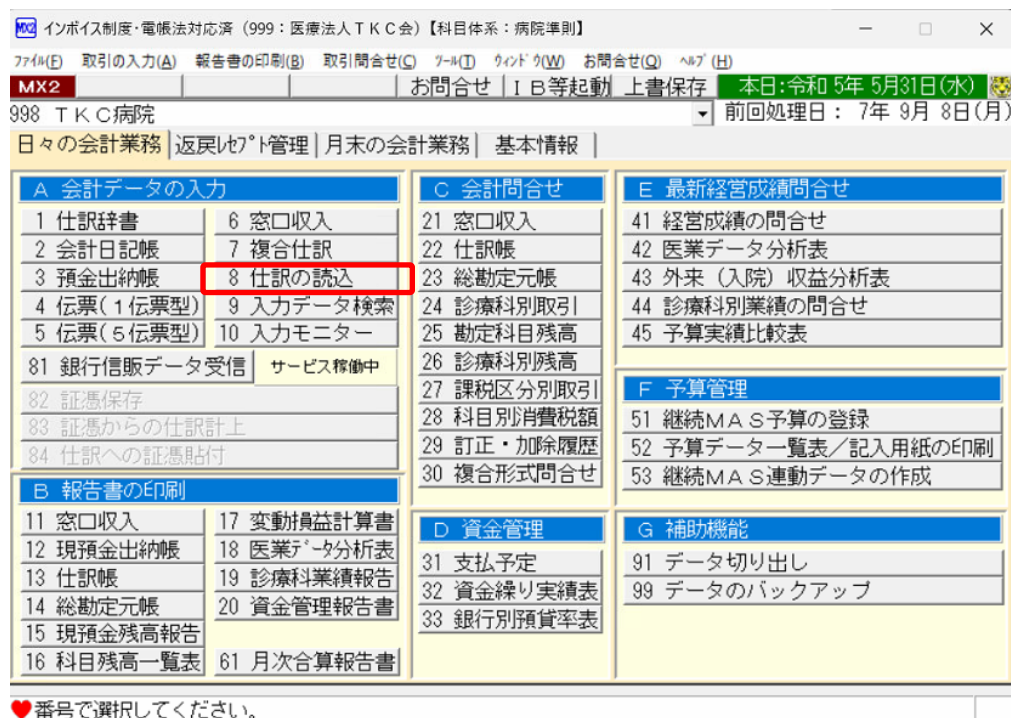
ファイルの書き出しが完了すると、以下の画面が表示されます。



7. 仕訳データの取込

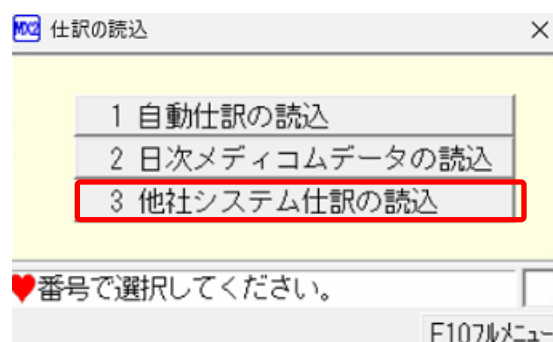
7.1. 仕訳データの取込

TKC MX2 の「日常業務」→「A.取引の入力」→「9. 他社システム自動仕訳の取込」を選択します。

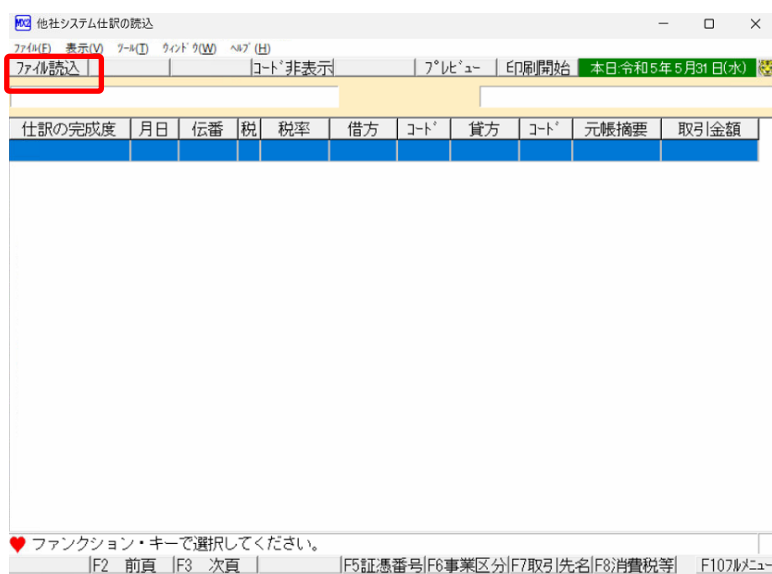


※この画面は TKC 医療会計(MX2)版となります

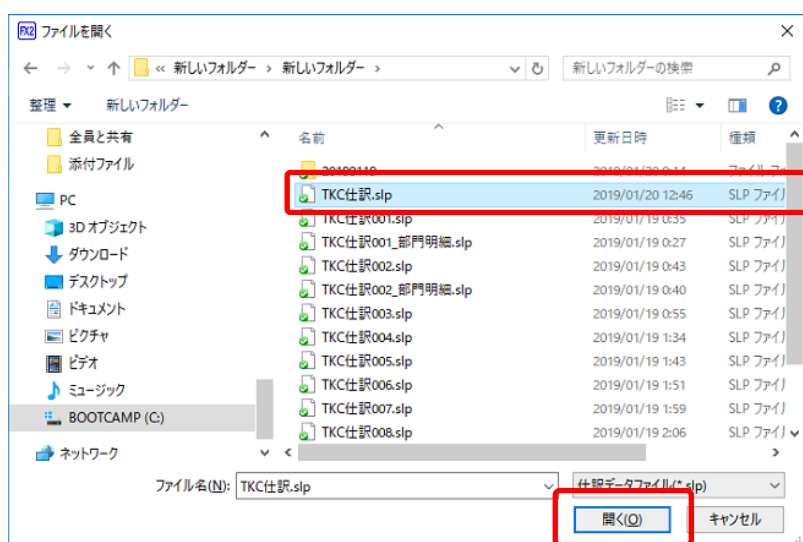
選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面で「3.他社システム仕訳の読込」を選択します。



上記の画面で「ファイル読込」ボタンを選択します。選択すると以下の画面が表示されます。



上記の画面で仕訳ファイルを選択したら「開く」を選択します。選択すると以下の画面が表示されます。

他社システム仕訳の読込

ファイル(F) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

コート非表示 プレビュー 印刷開始 本日 令和5年5月31日(水)

他社システム 令和5年5月1日～令和5年5月1日

仕訳の完成度	月日	伝番	税	税率	借方	コート	貸方	コート	元帳摘要	取引金額
OK	5. 1	9	7	10.0%A	普通預金	1113	現金	1111	菜の花	8,900

ファンクション・キーで選択してください。

F2 前頁 F3 次頁 F4一括読込 F5証憑番号 F6事業区分 F7取引先名 F8消費税等 F107メニュー

上記の画面で「仕訳の完成度」がOKと表示されているのを確認してから「F4.一括読込」を選択します。選択すると以下の画面が表示されます。

確認

更新しますか？

上記の画面が表示されたら「はい」を選択します。
取込処理が開始されますので、仕訳帳などをご確認下さい。

尚、取込時点でエラーが発生する場合があります。

他社システム仕訳の読込

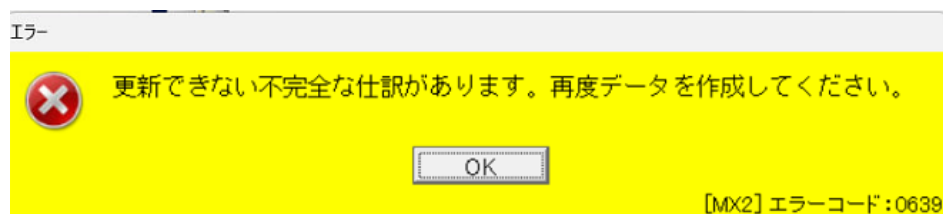
ファイル(F) 表示(V) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

コート非表示 プレビュー 印刷開始 本日 令和5年5月31日(水)

他社システム 令和5年5月1日～令和5年5月1日

仕訳の完成度	月日	伝番	税	税率	借方	コート	貸方	コート	元帳摘要	取引金額
診療科数エラー	5. 1	237	5	10.0%A	医薬品費	5211	普通預金	1113Z	支払買掛以外	100,000
事業区分エラー	5. 1	236	1	10.0%A	医薬未収	1122	乳幼児入	4113	回収テスト	125,064
診療科数エラー	5. 1	237	5	10.0%A	医薬品費	5211	買掛金	2112	支払テスト	107,352

上記の状態で「F4.一括読込」を選択すると以下の画面が表示されます。



この場合は、エラーの内容に応じて、再度 HAYAWAZA で生成する仕訳の内容を確認して再コンバートして下さい。

7.2 TKCMX2 取込時のエラー対処方法

生成した仕訳ファイルを TKC 取り込み時に発生するエラーは以下の通りです。

- 将来の日付エラー
- 資金収支区分エラー

• 将来の日付エラー

本エラーは、仕訳の取引年月日が「本日の日付」を超えている場合があります。本日の日付を再度確認してから仕訳ファイルの取込を行って下さい。

• 資金収支区分エラー

本エラーは、収支大分類が1～7および収支小分類が1～12の範囲でない場合に発生します。



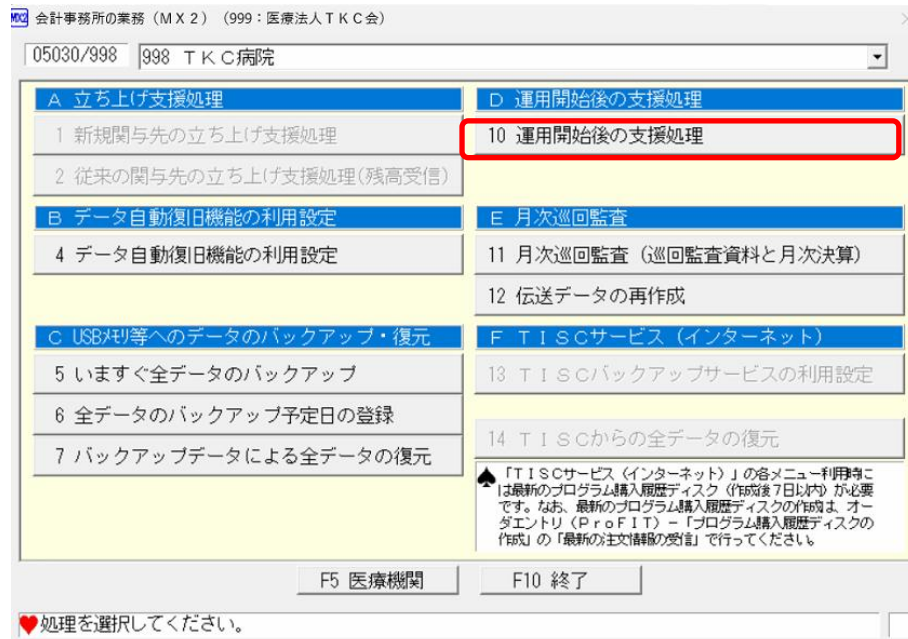
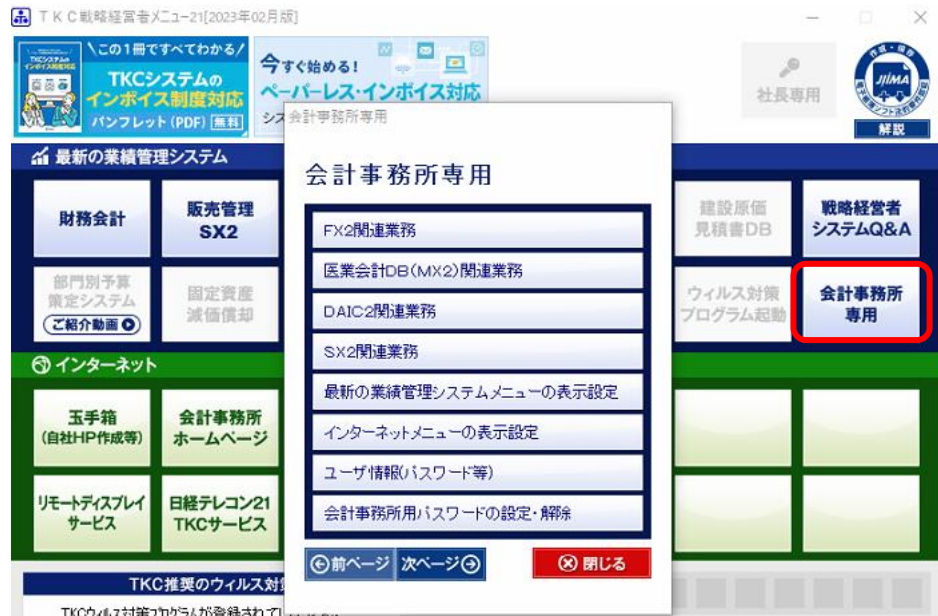
仕訳の完成度	月日	伝番	税	税率	借方	コード	貸方	コード	元帳摘要	取引金額
資金収支区分エラー	11.9	5	10.0%A	雑費	6231	現金	1111		タスク ネット代	1,447
OK	11.10	5	10.0%A	商品仕入	5211	現金	1111		マサ-薬局 薬代	426

このエラーを解決するためには、以下の方法があります。

- 1) 会計事務所専用画面から「資金相手科目」を登録する
- 2) HAYAWAZA の「資金相手科目一覧の管理」から勘定科目を登録する

1) 会計事務所専用画面から「資金相手科目」を登録する

登録方法は、以下の画面で行います。まず、TKC の会計事務所専用の以下を選択します。
「運用開始後の支援処理」を選択します。



下記画面で「34.資金相手科目」を選択します。

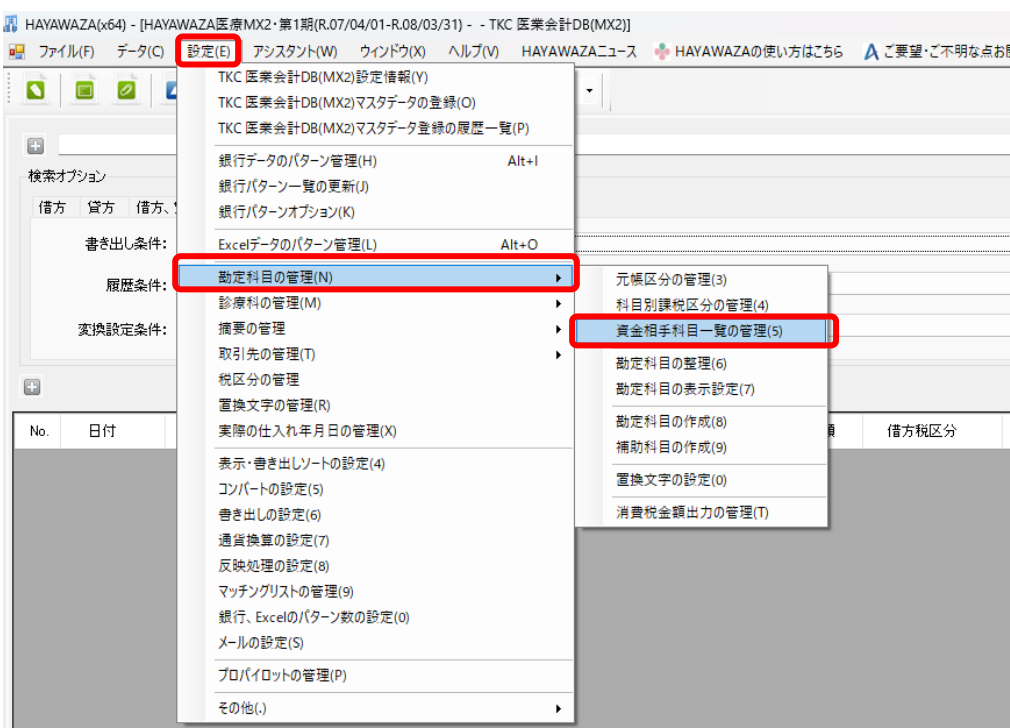
「経営支出」タブを選択後、下記の画面で資金相手科目を登録して更新します。
(例として「6321」「B」を登録します。)

更新後、再度、仕訳ファイルの読込を行うと「資金収支区分エラー」が解消されます。

2) HAYAWAZA の「資金相手科目一覧の管理」から勘定科目を登録する

登録方法は、以下の通りです。HAYAWAZA の事業所を開きます。

メニューの「設定」→「勘定科目の管理」→「資金相手科目一覧の管理」を選択します。



選択すると下記の画面が表示されます。

対象の行をダブルクリックします。

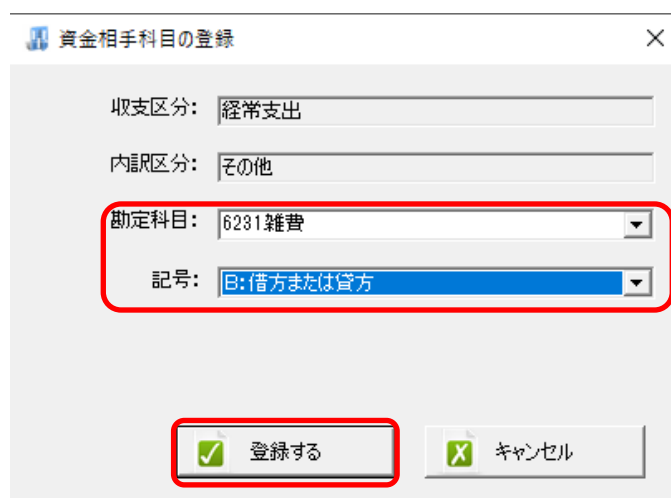


下記の画面で「新規登録」を選択します。



勘定科目コード	勘定科目名	記号
4111	社保入院窓口収入	B
4112	国保入院窓口収入	B
4113	乳幼児入院窓口収入	B
4114	他の保険入院窓口収入	B
4115	介護報酬収益(保険窓口収入)	B
4131	社保外来窓口収入	B
4132	国保外来窓口収入	B
4133	乳幼児外来窓口収入	B
4134	他の保険外来窓口収入	B
4138	その他の外来窓口収入	B

下記の画面で対象の勘定科目（6231）と記号（B）を選択したら「登録する」ボタンを選択します。



選択後、メイン画面に戻り、書き出しを行ってください。

以上